

解 答

一

- 問一 イ 象徴 ロ 序列 ハ 尺度 ニ 偉〔く〕 ホ 検証
問二 資本主義 問三 A エ B ウ C ア
問四 一般欲望を満たせる人は少ないので、ほとんどの人が不幸になってしまう
問五 その通りで 問六 ウィンウィングゲーム 問七 ア

二

- 問一 イ 巡〔って〕 ロ 信仰 ハ 銀幕 ニ 別段 ホ 傾〔いて〕
問二 ウ 問三 黄色いもの
問四 「私」は森を気持ちのよい心やすらぐ元気の出る場所だと考えているが、「彼」は森を暗くて深い力をもつ、邪悪なものの棲み家だと考えている。
問五 ウ 問六 森に潜む神に魅入られ、その神を求めているから。
問七 彼が感じている山の神の気配 問八 エ

解 説

一

- 問三 A 本文中には「(A)、という商業の動機は…」とありますので、A＝商業の動機、と読み取れます。本文1ページ上段18行目「商人は高く売れると、もっとたくさん商品を売りたい」からエを選びましょう。
B 本文中には「商業の動機は、(B)」という製造業の発展をうながし…」とあります。本文1ページ上段18～19行目「商人は…農村に入り込んで、農民に特定の品物をもっとたくさん作るように促します。」から、ウが選べます。
C 「市民社会」については、本文1ページ下段10～12行目にくわしく書かれています。「普遍消費（＝誰もが消費する）」はすなわちアですね。
問四 傍線②のあとをしっかりと読みましょう。「一般欲望を満たすことのできる人は二割ぐらい」「七、八割の人は～失敗する」「幸福になるどころか、この世の中のほとんどの人が不幸になってしまう」から要点を抽出し、①一般欲望を満たせる人は少数②それ以外のほとんどの人は不幸になる、の2点を記述しましょう。
問七 まずは傍線⑤に含まれる「この原理」という指示語部分の内容をつかみましょう。「この原理」とは本文3ページ下段3行目「いまの資本主義を、もうすこし合理的な資本主義（＝ウィンウィングゲーム）に変えてゆく哲学的な『原理』」ですね。傍線⑤にあらわれている作者の考えは、本文3ページ上段2行目～下段8行目までの広い範囲に述べられていますので、注意深く読み取りましょう。

二

- 問二 副詞の呼応の問題です。本文には「 人に出会うとは思ってもいなかったので」とありますので、否定の「ない」と呼応する「ア、めったに」と「ウ、よもや」が答えの候補となります。文脈からウを選びましょう。
問三 指示語の基本、①問題箇所を含む文の全体をしっかりと読む②問題箇所の前後から答えとなる部分を探す③問題箇所に答えを当てはめて文全体を一読する④答えの語末に「。」をつけないよう気をつける、を実践してください。
問四 「私」にとっても「森」については、本文5ページ上段24行目に「私にとって、森は気持ちよい心やすらぐ場所だなあ」とあるので、簡単に答えられると思います。「彼」にとっての「森」については、本文5ページ上段18行目「森の暗く深い力を描いているんです」、同22行目「森は邪悪なものの棲み家です」を利用してまとめましょう。本文7ページにあるように、「邪悪なもの＝『死』」ということまで加えても結構です。
問五 「彼」の「私」への態度は、「軽蔑するように言った（5ページ上段27行目）」かと思うと「また声を出さずに笑って『コーヒーでも飲みますか？』と言った（5ページ下段9～10行目）」というふうに、短い時間に変化しています。「私」はそれに戸惑っているのですね。
問六 傍線④の理由については、本文6ページ上段22行目「僕は、森に潜む者に魅入られてしまったんですよ」と、同下段19行目「彼は森やジャングルに住む神を求めてさまよっているのだそうだ」の二カ所に書かれています。制限字数が少ないので、簡潔にまとめましょう。
問七 問題文中に「それは何の『気配』だと『私』は考えていますか」という重大なヒントがあります。「彼」ではなく「私」がどう考えたのかを問われています。そのことを把握した上で本文を確認すれば、6ページ下段22～23行目「彼の絵の闇に潜む気配は、彼が感じている山の神の気配だったのかもしれない。」から答えを抜き出せるでしょう。
問八 二人の死生観については、本文7ページ上段25行目～下段2行目にまとめられています。「彼」は「死と生はひとつづきのものである」と考えていますが、「私」はその彼の意見に「死ぬことを考えながら生きるのは、あんまり楽しくないなあ」という言い方をしています。